

2023年度における事業の概況

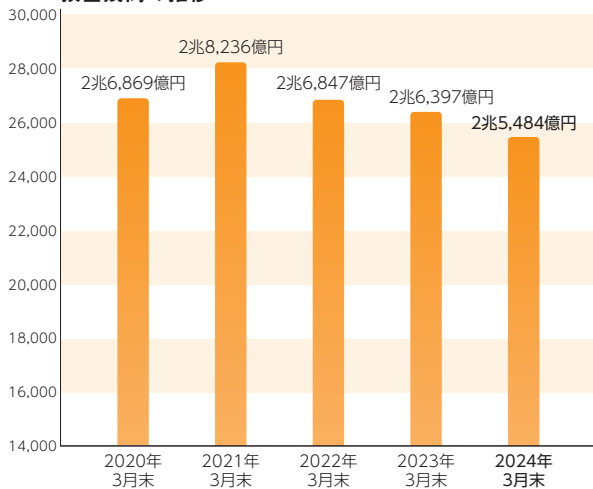
経営環境

2023年度は、約3年に亘る新型コロナウイルス感染症による影響が収束に向かい、大阪では行動制限の緩和からインバウンド需要も徐々に回復し、経済の回復に向けて薄明かりが見え始めました。

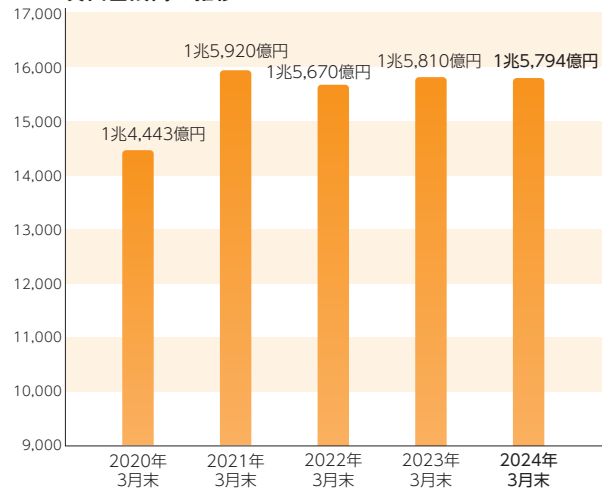
しかし、世界情勢の混乱や急速に進んだ円安の影響から、原材料や仕入・エネルギー価格などあらゆる物価が高騰し、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい情勢が続きました。

業績

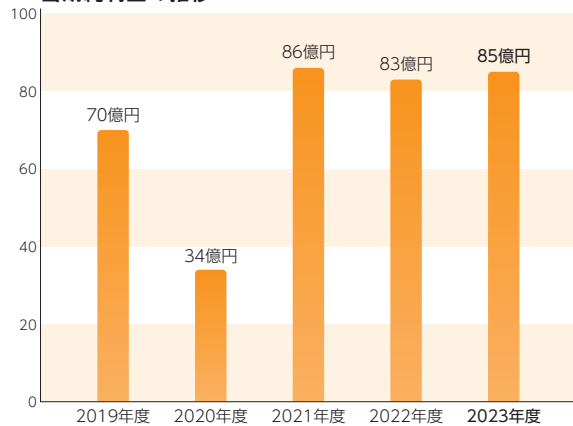
預金残高の推移



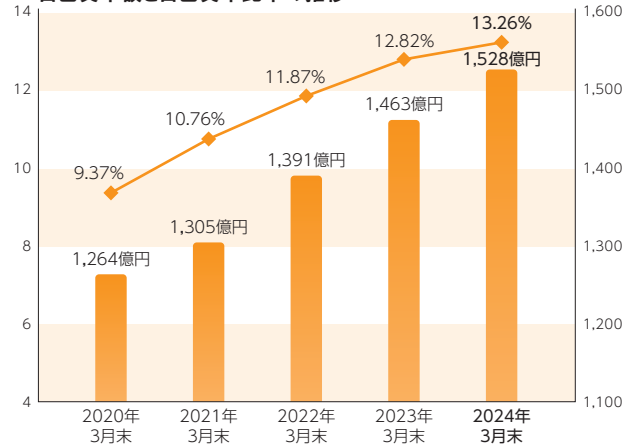
貸出金残高の推移



当期純利益の推移



自己資本額と自己資本比率の推移



厳しい経営環境が続きましたが、当金庫は今後の経済の回復に向け海外を見据えた取り組みの他、大きな経営課題となった「脱炭素」や学生による創業を積極的に支援しました。

行動指針に掲げる「自主創造」による取り組みも地域特有の経営課題に寄り添った活動を展開しています。

対処すべき課題

2024年度は、「自主創造」による取り組みをさらに加速し、「地域に感動をもたらす」信用金庫を目指します。